

そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 4

2016年6月29日発行

6月の聖句「絶えず祈りなさい」 (テサロニケの信徒への手紙 I-5節 11章)

まみこせんせい
麻美子先生がいよいよカメルーンに行って来ます!!

いつもみんなが「せかいじゅうで、こまっているひとが、はやくしあわせにくらせますように」とお祈りしていることを、ほんとうにその国に行ってお手伝いしてくるなんて、すごいことですよ!
人と仲よくできる力、考える力と英語の力、健康な体、そしてなによりも「やるぞ!」という気持ち。麻美子先生が、元気でがんばって働いてこられるよう、聖十字みんなで絶えず祈りましょうね!



プレス空知

2016年(平成28年) 6月25日(土曜日)



7月の出発に向け、決意と抱負を笑顔で語る麻美子さん

聖十字幼稚園教諭 渋木麻美子さん

市内の岩見沢聖十字幼稚園に教諭として勤務する渋木麻美子さんは、アフリカ・カメルーン国内の初等教育事務所に2年間赴任し、現地の幼児教育に取り組む。京都市内の大学に在籍中、国際経験の講話に感銘を受け「青年海外協力隊に参加して各国で幼児教育に協力し、同国は参加に理解を示

【岩見沢】JICA青年海外協力隊の本年度第1次隊として7月から派遣隊員となる岩見沢出身の渋木麻美子さん(26)が23日、松野市長を訪ね、出発を報告。現地での活動に向けた決意と抱負を語った。

JICAの青年海外協力隊で大学時代からの夢を実現

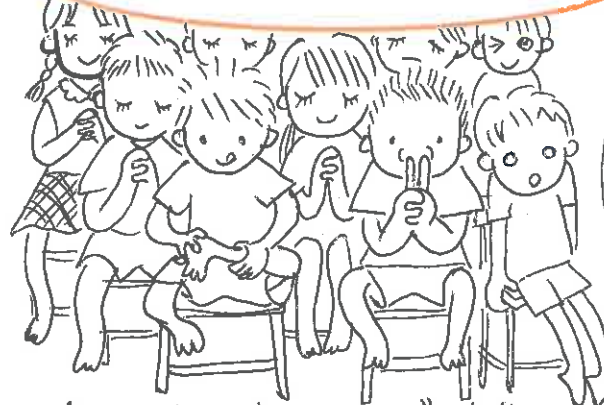
カメルーンで幼児教育

市内の岩見沢聖十字幼稚園に勤務する渋木麻美子さんは、アフリカ・カメルーン国内の初等教育事務所に2年間赴任し、現地の幼児教育に取り組む。京都市内の大学に在籍中、国際経験の講話に感銘を受け「青年海外協力隊に参加して各国で幼児教育に協力し、同国は参加に理解を示

がんばれ
まみこ先生!!

礼拝のときの子どもたち
とってもほほえましいのです。

おいのりはからっぽの心で



鼻をほじったりするのは、子ども自分の体に興味をもちはじめる成長の証けなのですが、見事にクラス列目の全員で証明してくれる瞬間があつたりします。年中さん、年長さんはきちんと目をして、いい顔でおいのりしています。



コップにね、いっぱい水が入ったら、もう何も入らないわね
おいのりのときも、こころをからっぽにして、かみさまとお話するんだよ
かみさまのめぐみが、いっぱいいたでけるように
じゃ、じをからっぽにして、目をしてみましようか。



からっぽ... からっぽ...
チャレンが話すと年長さんをかっこよく目をしておいのりしていましたよ。

むかしがたりの力・声の力



月曜礼拝のあとは「昔語り」先生方が交代で、何も見ずにお話してくれます。



そのときの子どもたちの表情はすごい。すばらしい顔です。先生をじーっと見てる子... 目をして聴き聞いている子... 宙をみつめて場面を想像している子...
先生から19人もはなれた場面で行っている年長さんでもこの集中度!! ガチャガチャしたこの時代、たがも青争の時間が、こどもの心を豊かに耕しています。

いつゲーム・スマホを与えるか



24日(金) 岩小の成田先生、東光中の三國先生、二瓶先生の三人の先生方が、ゲームが子どもに与える影響についてお話して下さいました。
3人の先生方もお子さんをお持ちなので、失敗文や悩みが、私たちと同じで、共感しながら皆さんもお聴きになっていたので是非聞いてほしいです。
終了後、熱心に質問する姿もありました。
参加者の皆さんに感謝!!

こわ 壊れた暗渠

現在の園舎が建って、もう今年の秋で16年が過ぎます。屋根や水回りなど、あちこちにガタがきてますが、つい最近「砂場の中のパイプが壊れてます」と外遊びの先生が見つけてくれました。暗渠のパイプが切れて水が流れなくなっていました。毎日子どもたちがすごく遊んでいる砂場です。急遽、友の会に相談し、ウサギ小屋よりも先にこちを直そう、という事に。排水がどんな仕組みか聞くと、衛生的な先進国を作っている一番大事な「土木」の世界の魅力がわかり、すっかりはまりそうな私です。